

NPO法人「KRAIANY」(クラヤヌイ)とは

東京を拠点とする非営利団体であり、様々な活動を通してウクライナの文化を一般の日本人の人々に知ってもらうことをミッション(使命)としています。2021年3月に正式にNPO法人としての登録されるまでの22年間、教育イベントやワークショップ、フェスティバル、パレードなどの文化イベントの開催に焦点をおき、活動を続けてきました。



ロシアの侵略に直面しているウクライナを支援するための人道的努力

ロシアが2014年にクリミア半島を違法的に併合し、ウクライナの東部ドンバス地域を占領して以降、KRAIANYは戦争の影響を受けた人々を支援するための資金調達に取り組んできました。日本では、ウクライナで起きている出来事に対する理解や正確な報道に不可欠な信頼性の高い情報ソースが不十分であったことから、KRAIANYは日本語でのニュース配信に力を注いできました。翻訳されたウクライナのニュースをSNSで配信し、個々のジャーナリストと直接協力するなどの活動も行ってきました。

2022年2月のロシアによる全面侵攻以降は、現地にいるボランティアやNGOを通じて、被害の大きかった地域(ハルキフ、スームイ、ムィコライフ、マリウポリ近郊など)の人々を支援するための資金調達(募金)に注力しています。KRAIANYが集めた資金は、ボランティアに直接送られ、食料、医薬品、医療機器、発電機や輸送用の燃料などの調達に使用されます。私たちは現地にいる20人以上のボランティアと直接やり取りを行っています。募金活動を最大限に活用するために、他の団体とも連携をし、活動を行っています。(“Stand with Ukraine Japan”, YMCA Japan, Pathwayなど)

国際交流プロジェクト

1. 日曜学校「ジェルルツェ」
2009年より実施しているこの学校では、1ヶ月に2回ほど約40名の子供たちが集まり、ウクライナ語やウクライナについて学んでいます。
2. 文化フェスティバル
クリスマス・フェスティバル、ヴィシヴァンカ・パレード、展示会などを通してウクライナの文化に対する理解や知識を深めていただくために、イベントを企画・開催しています。
3. ワークショップ
ウクライナの伝統的な工芸品の工作などのワークショップを開催しています。

協力の機会

1. 医療機器 ウクライナの人々は、ライフラインを確保するために、高価になりがちな医療機器を必要としています。KRAIANYは、その医療機器の購入と出荷、輸出ライセンスなどを必要とし支援を求めています。民間インフラに甚大な被害が生じており、女性や子供を含む数多くの民間人の死亡が確認されています。彼らは私たちの助けを必要としています。
2. 支援発送 国境管理による配達遅れを最小限に抑えるために、日本各地から調達した必需品をポーランドまたはモルドバに公式書類と共に届けることができるパートナーを探しています。一部の商品は時間に敏感なものですが、多くの日本からの人道支援物資配達には大幅な遅延が発生しています。例えば、カイロをお届けしましたが、配達遅延により、気温の変化と共に不必要になってしまった可能性もあります。
3. ウクライナ・センター 上記の企画を簡素化・注力し、在日ウクライナ人やウクライナから避難した人々に情報提供をするためにKRAIANYは、ウクライナ・センターの結成に取り組んでいます。関東地方には避難者を含め、約1000人のウクライナ人が在住しています。当施設は、日本におけるウクライナ文化の中心地となり、ウクライナから来日した人々のための「憩いの場」として使用されます。また、日本では数少ないウクライナの本などを取り揃えたウクライナ語の図書室などの設置も検討しています。

振り込み銀行口座

口座名義 三菱UFJ 銀行 (Mitsubishi UFJ)
支店 品川駅前支店 588
預金種目 普通
口座番号 0516596
口座名義 トクティヒエイリカツドウホウジン ニホンウクライナユウコウキョウカイクラヤヌイ

